

2020年、そしてその先へ、
バスは変わります。

都営バス構想 2020

TOEI BUS Initiative 2020

概要版



ノンステップバスから、フルフラットバスへ。

乗降口の階段をなくしたのがノンステップバス。
しかし、車内の通路に段差があり、二つの問題を抱えています。

一つは混雑です。
通路に段差があることで、どうしても手前でとどまってしまう。
前方ばかりが混み、乗り降りにも時間がかかります。

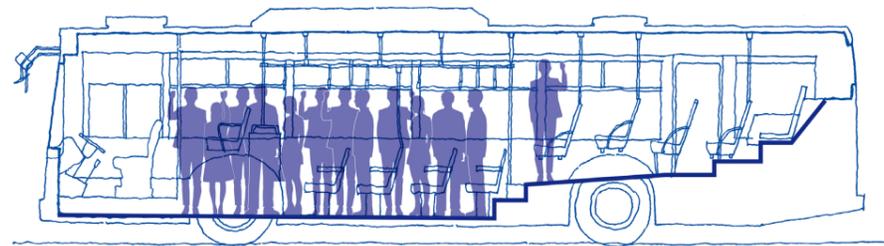
もう一つは車内での転倒です。
超高齢化時代が迫るなか、防止がより大事になっています。

段差をなくすことで、これらの問題を大きく改善できると考えています。

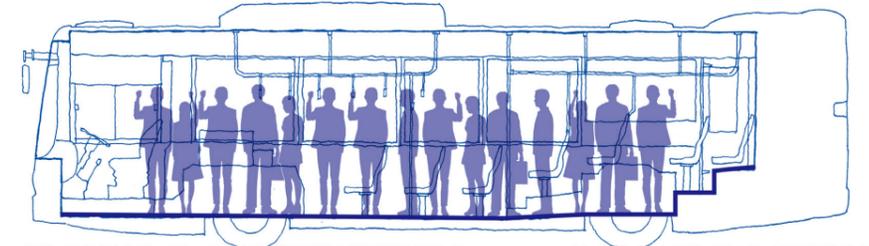
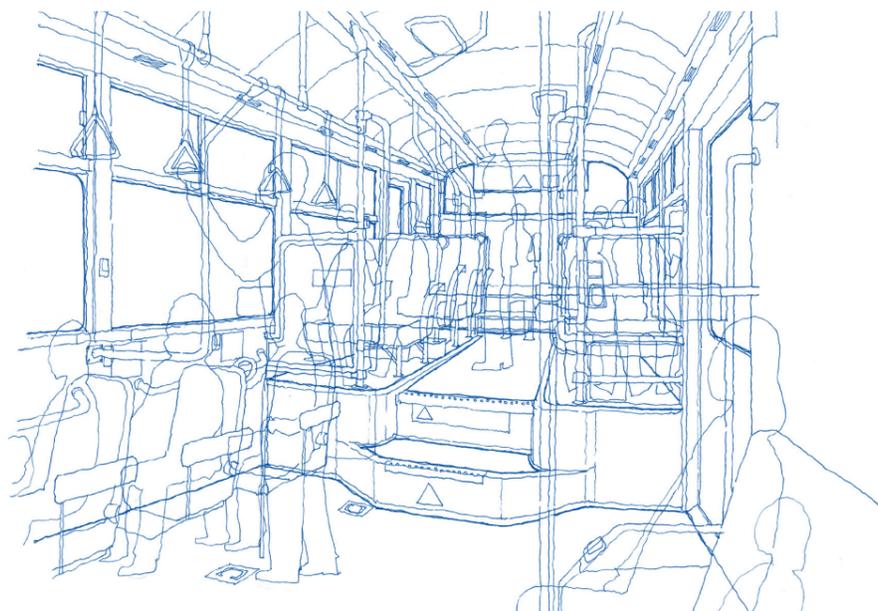
乗降口の階段がないのはもちろん、
車内の通路の段差もなくした新たなバス。

名付けて「フルフラットバス」です。

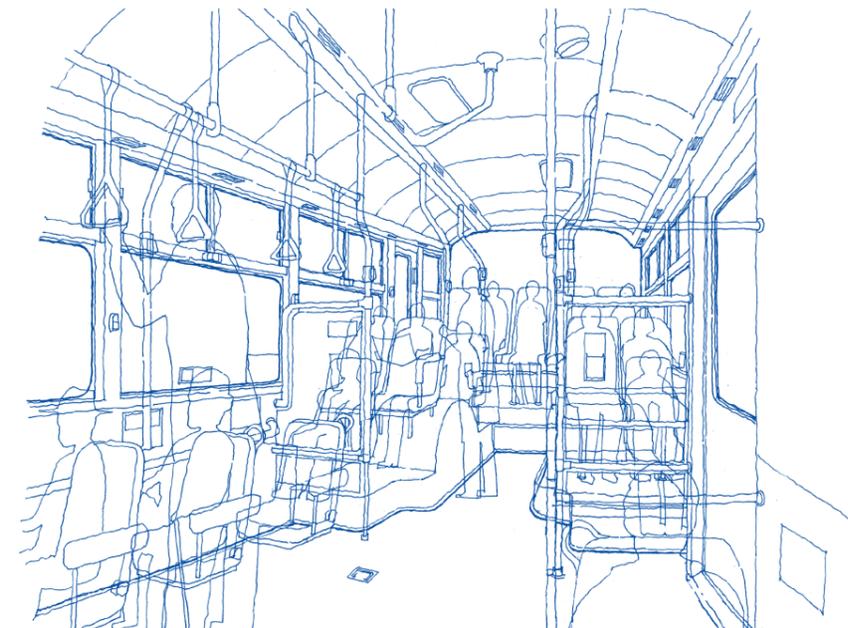
PLAN 01 フルフラットバス



現在の車内：ノンステップバス



フルフラットバスの車内



わからない、をなくします。

誰にでもよくわかる案内サインへ。

『バスはよくわからない』という声をよく耳にします。

乗りたいバスのバス停はどこか、
バスがいつ来るのか、
どこへ行くバスなのか、
この3つのわからない、を解消します。
日本の方も外国の方も、誰にでもわかるようにします。

あるべき場所に、途切れることなく、
欲しい情報があるように。

駅からバスに乗るまでの案内サインが、
あるべき場所にない、あってもわかりにくい……。

電車を降りた。バスに乗り換えたい。
改札を出た。どの出口にいけばいいのか。
駅前広場に出た。乗りたいバスのバス停はどこだろうか。
バス停に着いた。このバスに乗って大丈夫だろうか。

あるべき場所に、途切れることなく、
わかりやすいサインや必要な案内がある。
ホームで、改札口で、駅の出口で。
駅前広場で、バス停で、そして、バスの中で。
わからない、をなくします。

PLAN 07 路線名 アルファベット表示

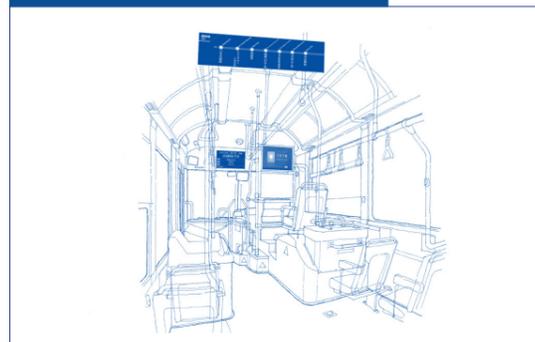
PLAN 08 行き先表示 カラー化



PLAN 06 バス停 デザイン改修・接近表示



PLAN 09 車内 デジタルサイネージ



PLAN 05 駅前広場 デジタルサイネージ



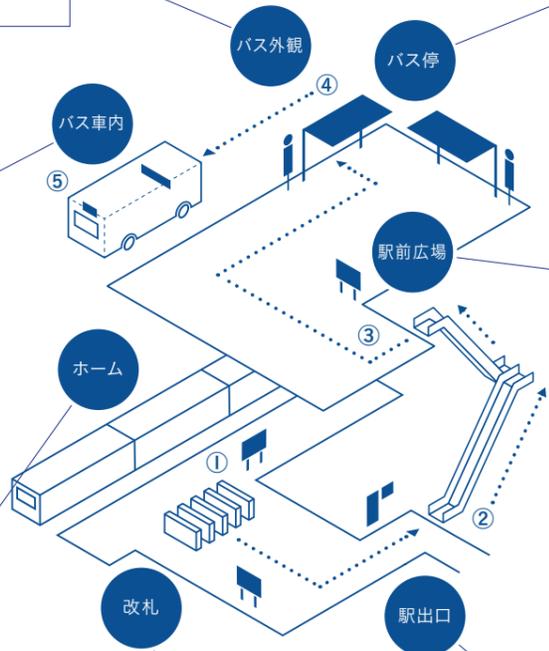
PLAN 02 駅ホーム案内板 デザイン改修



PLAN 03 地下鉄改札口 デジタルサイネージ



PLAN 04 駅通路 バスのりば案内サイン



PLAN 02 駅ホーム案内板 デザイン改修

バスのりばと最寄りの出口をわかりやすくします。



PLAN 04 駅通路 バスのりば案内サイン



PLAN 06 バス停 デザイン改修・接近表示

バス停の多言語表記を充実させるとともに、バスの接近状況にも英語の表示を加えます。



PLAN 03 地下鉄改札口 デジタルサイネージ

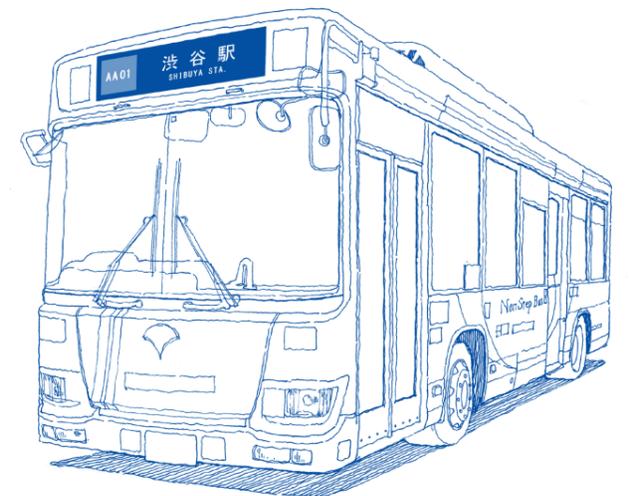
バス路線やのりば案内、発車時刻や運行状況が日本語・英語で分かるようにします。



PLAN 07 路線名 アルファベット表示

PLAN 08 行き先表示 カラー化

外国の方でも、乗りたいバスが分かるようになります。



PLAN 09 車内 デジタルサイネージ

バス停名や鉄道への乗り換えなどを多言語で案内するとともに、沿線の観光スポットや、ニュース・天気予報などを提供します。



1 次停留所名表示



2 デジタル路線図



3 多彩な情報の提供-1



3 多彩な情報の提供-2